



鷹揚同窓会会長 挨拶

緒方 一夫 (高25回)



熊本では随兵寒合の言葉通り、朝夕はずいぶん過ごしやすくなりました。関東やんぼし会会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年の創立95周年記念同窓会で鷹揚同窓会長にご推挙いただき、ようやく十か月が経過しました。微力ですが、母校の発展を願い、同窓生の親睦及び後輩への支援を図ってまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

ここで、最近の大津高校のようすをご紹介します。4月、熊本日日新聞社主催のPTA広報誌コンクールで、大津高校のPTA新聞「いちよう」がグランプリ受賞。さらに、昨年秋の島田直孝先生(第30代校長)に続いて、春の叙勲で高田憲清先生(第29代校長)が瑞宝小綬章の栄に輝かれました。5月に移行した体育大会では、美術コース生の力作が団席を彩る中、伝統の大高体操や俄かつぎリレーなどに加え、全校応援、三年生による集団行動など新たなパフォーマンスが披露され、たいへん見応えがありました。6月の高校総体では男子サッカー部、少林寺拳法部が優勝、陸上競技部からも東海インターハイへの出場者が出ました。また、



放送部はNHK放送コンテストに出場と、合計37名の生徒が全国大会へ進みました。特に、炎暑の中、男子サッカー部は冬のチャンピオン前橋育英高を3-0で破るなどベスト8に進出。攻撃力がありながら、失点が少ないバラン

スの取れたチームには冬の選手権大会での活躍が期待されます。なお、8月末には、プール移設工事に伴い神事が執り行われました。今後、山伏塚一帯の整備も進むこととなります。

ところで、母校は来る2022年に創立百周年を迎えます。同窓会としましても、創立百周年記念大同窓会の開催、記念誌「鷹揚」の発行、同窓会館建設など重要な事業が目白押しです。いずれも時間的制約があると同時に、多くの同窓生が心待ちにされている事業です。現在、百周年記念行事実行委員会(仮称)の準備を進めて、より良い結論を出していきたいと考えています。同窓会のホームページでも情報発信に努めますので、多くの

皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、関東やんぼし会会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げ、鷹揚同窓会を代表してのご挨拶とします。

関西やんぼし会の状況

会長 日吉 靖夫 (高14回)

関東やんぼし会の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

第28回の関東やんぼし会の開催誠にありがとうございます。関西やんぼし会は平成13年に発足いたしまして、以来お互いの総会には会長が出席し交流を深めてきております。



関西やんぼし会は毎年9月に定時総会・懇親会を開催して

おり、出席人数は関東やんぼし会の半数程度ですが、若い実行委員の方々が趣向を凝らして楽しい懇親会となっております。定時総会を開催するにあたり理事会及び実行委員会を開催して、如何に会員の出席増を図り活性化していくかを検討しておりますが思うような成果が上がっていないのが現状です。若い卒業生の住所等の情報が得られればもっとやんぼし会の活性化が進むのではないかと考えます。鷹揚同窓会並びに

高校関係のご助力をお願いしたいと思います。

今年平成30年はインターハイが三重県で開催され、大津高校



サッカー部が出場し、関西やんぼし会も四日市まで応援に駆け付けました。1回戦、2回戦は勝利しましたが3回戦で惜しくも敗れベスト8で終わりました。関西で開催されたインターハイでは、平成21年の奈良県平成27年の兵庫県の大会でも会員の皆様に応援に行っていただきました。いずれも優勝は出来ませんでした。同窓会と現役学生が一体となってすばらしい応援でした。しかし今年は九州大会で優勝した実力があるので冬の選手権大会を期待したいと思います。

関西やんぼし会の総会を9月30日に予定しておりましたが、台風の来襲が予想されているため急遽延期することになりました。ご出席頂く予定だった方々には誠に申し訳ございませんでした。これからも、関西やんぼし会に何かとご助力頂くようお願い申し上げます。



熊本地震後 2 年半 阿蘇の状況 写真家 長野 良市(高 28 回)

熊本地震が発生してやがて2年半、今年になって大阪での地震、広島・岡山・愛媛の豪雨、関西直撃の台風、北海道の地震と立て続けに日本列島は災害に見舞われた。私の隣にいたボランティアの団体は、さまざまな道具を残したまま次の被災地に向かったまま帰ってくる気配がない。災害列島日本だが、復興に至る情報があまりマスコミに流れなくなった。熊本地震を気にかけてくれるのは、もはや故郷がこの地にある人だけかもしれない。



南阿蘇の今を私が知りえる話をする。まず、阿蘇大橋は崩落地点から約800m黒川下流に建設が進んでいるが、あと3年後の完成を目指し大成建設を中心とした共同企業体が工事を進めている。1ヶ月に1回、私と三男はドローンで建設現場の進捗状況を撮影している。現在、河陽側と立野側から巨大なエレベーターが川底に向かって作られ、黒川の川岸に崩落した岩石を取り除く作業が進められている。立野病院横の国道57号につながる橋の橋脚もその姿を見せてきた。写真を見てほしい。

<新阿蘇大橋現場>



大津から立野を経由して赤水に抜ける国道57号沿線の阿蘇大橋崩落現場は順調に山腹工事が進んでいる。いずれ道路を地震前と同じように通り通すといわれている。後は豊肥線をどのように赤水と立野をつなぐか、立野の新所地区のレッドゾーンの山際を通るとは考えられないのだが、大津・高尾野から二重峠の下を通り阿蘇・

的石に抜けるトンネル工事も阿蘇大橋と同じ時期に完成すると聞いている。阿蘇谷は大津が一気に短くなって便利になる。

<阿蘇長陽大橋>



南阿蘇鉄道は約70億の予算で復活させるそうだが、現在は高森と中松駅を往復しているに過ぎない。私の家の前の阿蘇下田城ふれあい温泉駅は廃墟のままで、西に向かう線路は錆びついたままである。このように国主導で行われるインフラ工事は原状復帰を目指し確かに進んでいるといえるが、果たして被災集落はどうなっているのだろうか。

<地獄温泉清風荘のすずめの湯>



仮設住宅の2年間の居住期限が切れ、行政は次の復興住宅建設に取り掛かっている。新しく住宅を建てるのが人は既に新築の家へ、行き先が決まらない人は暫く仮設住宅に残るという具合だ。危険地域を避けた、例えば便利な国道や県道沿いに建設が進んでいるので、来春には新しい集落が出来るのだろう。

老舗旅館があった地獄・垂玉温泉は経営者の再開に向けた活動が始まっているが、まだ土砂除去や県道の再開が進んでいない。東海大学があった黒川地区はようやく県道の道筋が決まったが、大学自体は一部の施設を残し殆どは撤退する。今では遺構ミュージアムや学生アパートを運営していた人々の生活再建がテーマとなっている。隣接する東急ゴルフ場は日本赤十字社がもっていた施設を買い上げ、阿蘇の玄関口の観光施設として大企業の復興手腕が問われることになる。要は復興再建現在進行中である。

さて、ようやく私も地震に追いかかれた状況から、自分自身の自立した環境を作り始めている。一部損壊だった自宅、旧宅、事務所を何とか状況まで戻した。今取り組み始めている内容は、旧長陽村の記憶遺産としての写真アーカイブズ制作、さらに人口減少が進む地域の歴史、文化を残すための記録制作である。地震のドキュメントは今年1月31日発行の【ゼロの阿蘇—500日の記録】(シーズプランニング制作)を見てもらいたい。

「自転車通学 12Km」

塚元 宜彦 (高 12 回)

大津高校には山西村出の口から 12 km の砂利道を自転車で通った。鳥子川までの 8 km は下りでほとんどペダルを漕がなくて済み 1 時間弱で着くが、帰りは漕ぐのは無理で降りて押さねばならない上り坂も多く 1 時間半掛った。特に雨に降られ傘をさしながら自転車を押すのは惨めだった。力尽きると万徳の親戚に自転車を預けて出の口まで 4 km 歩いて帰るが、翌朝の徒歩で小 1 時間早出するのが辛かった。冬は朝 手が悴んで痛いし、帰りは霜解けの泥がタイヤとカバーの間に挟まり、車輪が回らなくなるので小枝を拾って泥を掻き出しながら坂を登る時は泣けて来る。土手にしゃがんでベソかいていたのを告げ口され、母に「そぎゃんきつかなら辞めてもよかばい」と言われたのは堪えた。尚綱高卒の母が経理士の父の早逝のため 7 人の子供を抱えて村に戻り、百姓しながら学資を工面しているのはよく解っていたから・・・



この道も今では舗装され 30 分程のバイク通学となっているが、標高差が 250 m もあり、自転車では 12 速変速付きでも通う気がしない。昔はよくぞ頑張ったものだとながら感心する。成長が遅く 1 年生の時クラスで二番目に背が低くサドルを下げてやっとペダルに届くほどだった。未だ声変わりしてなくて、音楽の先生 サザエさんにボーイソプラノを見こまれて合唱隊に駆り出された。綺麗なお姉さんたちに囲まれて阿蘇農業高校まで歌いに行ったりして楽しかったが、無理して歌ったせいで、声変わりの後高い声が出なくなった。今でも嫌々カラオケ歌わされる度に恨みに思う。

中学の恩師が陽美会 OB だったこともあり美術部に入った。部室は中庭のテニスコートに面しており女子部員の日焼けした太ももが眩しかった。絵の具も筆も費用は学校持ちで助かったが、高価なキャンバスは使えずベニヤ板に膠を塗って油絵を描いた。鶴屋デパートでの陽美展の時、第一高校の中学同級の女の子に招待状を出して来てくれるまでのヤキモキした思いは今でも胸キュンものである。県展にも入選したことがあるから腕前はそこそこだったと思うが、熊大の美術部の気風が合なかったのとアルバイトとダンスにうつつを抜かし絵を辞めたのは今にして後悔される。

正月に、美術部員が姫野先生の新婚のお宅でご馳走になったことがある。変な匂いのするものがあるので「この石鹸のようなものは何ですか？」と問いたら「チーズだよ」との答えで大恥かいた。なにせ山西村では麦飯や粟飯と味噌汁漬物、魚と

いえば塩鯖という食生活だったからチーズなど知る由も無い。そんな時代だから県庁に勤めていた姉に鶴屋の食堂でフルーツサンドを奢ってもらった時の感激は今でも忘れられない「世の中にはこんなに美味しい物があるのか！勉強して高給取りにならねば」と奮起したものだ。

担任は 3 年間井口司郎先生だった。熊大を卒業したばかりで張り切っておられ、代数の授業も生徒指導にも熱意があふれていた。生徒の悪戯に真面目に口とんがらせて反応されるし、やや内股で髪型が似ていたので「河童さん」というあだ名をつけた。初めての担任で思い入れが強かったのか、卒業後の同窓会にも毎回出席された。パチンコが好きで、家庭教師の帰りに上通の店から出てきた先生に遭遇し、ご馳走になった蜂楽饅頭は美味かった。退職後は洋蘭が趣味で後楽園の世界蘭展を見に上京される度に在京同級生が集まっていたが喜寿を前に亡くなられたのが残念でならない。

関東やんぼし会は、富士通勤務のころは仕事が面白くて時間が取れなかったことと、偶に参加しても大津中学の人が主流で山西など歯牙にもかけない雰囲気を感じられ居心地悪かった。しかし退職後 11 回総会に山西ゆかりの童謡歌手大庭照子が来るというので半分義理で出席したら、兄や姉弟の同級生から声をかけられ、すっかり楽しくなってしまった。

その後サッカー応援や囲碁の同好会で親交を深めるうちに、一言多いのが災いして会報の編集を担当するようになった。なにせ兄弟 6 人が通学したのに貧乏でほとんど授業料を免除にもらったので、やんぼし会の運営を通して少しでも恩返ししようと 10 年頑張ると、後進に託した会報がなお一層充実してきたのは喜ばしいと思う。

今後は、関東やんぼし会の活性化のためには、ネット活用が不可欠と考え、メーリングリストの立ち上げを支援し軌道に乗せたいと思っている。

(本稿は鷹揚同窓会 80 周年に投稿したものに加筆したものです)

「クウェート駐在回顧録」

上村 雅男 (高 20 回)

今から 33 年前の 1985 年から約 3 年間、中東の国クウェートに、メーカーの駐在員として赴任することになった。この国は古代メソポタミア文明発祥の起源となるチグリス・ユーフラテス川の注ぐペルシャ湾を望み、アラビア半島の東の付け根に位置している。四国より小さく、人口 428 万人の小国ながら、莫大な石油収入で近代化を遂げ、医療費、教育費が無料という社会保障制度の充実しているイスラム国家である。



当時はイラン・イラク戦争(1980年~1988年)の最中であり、隣国イランからクウェートの石油コンビナートを目標にミサイルが撃ち込まれ、アメリカ大使館爆弾テロ事件や、勤務先事務所の周辺でも爆弾事件が起きるなど物騒な時代であった。それでも徐々に慣れてくると危険に対して鈍感になっていた。

夜明け前モスクから響いてくるコーランの祈りに目が覚め、赤茶けた色の砂嵐が吹き荒れた時はその細かい粒子が部屋に忍び込み、外出すれば40度以上の灼熱の暑さに悩まされた。楽しみといえれば駐在員宅で家族が手作り料理を持ち寄って飲み食いしながら、カラオケ大会などに興じてストレスを発散することだ。たまに日が沈んでから家族を連れて町に繰り出し、きらびやかな金スーク(市場)の通りを歩きながら、ウインドウショッピングを楽しんだりした。また、イスラムの休日である金曜日に家族と砂漠地帯へ行った時、偶然にもひっそりと咲いている紫色のアヤメを見つけた。厳しい自然の中に生きる花の逞しさには心を打たれた。



イスラム教の戒律で禁酒国のため、お酒が手に入らないのも特異なことの一つ。お酒は自宅での接待、あるいは現地の方々へのお土産として喜ばれる貴重なものであり、旅行や出張先から帰るたびに、入国時の税関検査で没収されないようにいろいろ工夫をして持ち込んだ。富豪のクウェート人宅のパーティに招待された時、ウイスキーなどのお酒が、お土産として喜ばれると知って、目立たないよう新聞紙に包んで持って行ったこともある。隣国のサウジアラビアは、イスラム教の最高の聖地メッカを抱えており、イスラム教の戒律の非常に厳しい国である。お酒の類が見つければ、むち打ちの刑罰が待っている。クウェートはお酒に関しては他の湾岸諸国と比較すれば緩やかなほうだった。もう一つの戒律はラマダン月の断食、日の出から日没まで飲食を絶つことである。日没になると、解放感にあふれた現地の若者達がクラクションを鳴らし、叫び声をあげながら街中をドライブするのが聞こえたりした。この時期の日本人は、通常どおりの生活をしていて、飲食についてはさすがに場所を選び、目立たないように気をつけていた。

このように、自然の厳しさ、宗教による制約、政治情勢の不安など抱える中で、唯一の楽しみはヨーロッパの国々へ家族旅行が出来たことだ。この時ばかりは羽根を伸ばし自由を満喫した。

イラン・イラク戦争時の1986年9月、イラン

の首都テヘランへ出張中に、地方都市タブリーズに納入した火力発電設備がイラク戦闘機の爆撃を受けた。日本からの出張者数名が負傷したため救出作戦に参加した。大使館、商社など関係者の協力を得て、負傷者を無事に日本へ飛行機で搬送することができた。この出来事を契機に、商社の駐在員と陸路イランからトルコへの脱出、避難ルートを慎重に探り、トルコの首都アンカラの日本大使館にその結果を報告。避難訓練も兼ねていたので、無事任務を完了した時は安堵した。

1988年4月、約3年間のクウェート駐在を終えて日本に帰国した。その2年後イラク軍が突然クウェートに侵攻し、湾岸戦争へと突入していった。

中東の国々は、宗教、民族、歴史、それに欧米諸国の政策などが複雑にからみあい、今でも紛争が絶えない厳しい状況にある。一方日本は重要な石油資源などを中東に依存している。クウェートから帰国し30年が経過した。日本は平和で安全な国というのを忘れがちだが、当時を振り返ってあらためてこの国の有難さをかみしめている。ただ妻と幼かった娘には、厳しい自然の生活環境、教育、医療の面でずいぶん苦労させたような気がする。いまでは家族に感謝している。

「定年を迎えて」

内田 弘 (高28回)

長い会社員生活を過ごし今年3月に定年を迎え、4月から引き続き契約社員として働いている。

42年前の高校生の時を思い起こすと、軟式庭球部に所属し1年のころから高総体に参加し、そこそこ強かったことを覚えています。西原出身でしたから1年生の時は自転車通学で行きは20分、帰りは45分かけて通ってました。2年生から原付バイクでの通学で10.5kmの道のりを2か所の信号無視で12分30秒の最速を記録したことを覚えています。

そもそも大津高校に進学したのは、兄たちが通い身近な普通科というだけで受験し、当然将来の目標も無く、無気力に3年間を過ごしたように思います。その結果大学受験では大きな代償を払いました。その後の人生においても、やり直したいほどの後悔が続いたくらいです。熊本での大学生活後、転勤族の会社員になり熊本を離れました。長崎・佐賀・熊本・福岡と各地を転々と12年前に東京へと移り現在に至っています。

母校を再認識したのは東京でのことです、同僚との出身地の話から出身高校を聞かれ「大津高校」と答えたら「名門ですね」と若い同僚に言われた



時です。サッカーで有名になり、滋賀県の天津ではなく熊本の天津高校の名を東京で聞くことになるとはと思いませんでした。後輩の活躍が誇らしく思える瞬間でした。

毎年の年末年始は、国立競技場での母校の応援を楽しみにしています。PCのお気に入りになり、天津高校のホームページを登録し、美術科や理数科その他の部活の活躍等を時々眺めています。

定年にあたって会社員人生を考えると、熊本の大自然で育った環境が今の人格を築いたことを実感します。

「人間万事塞翁が馬」の社会で県民堅気的な気風が強く、ぶれない姿勢を貫いたような気がします。

異端児的な私がまだ会社に残り仕事ができるのも、阿蘇の大自然の環境の中に育ったからかもしれません。そんな意味での故郷の地震の報道にはびっくりしました。熊本大震災では多くの同僚から義援金の協力をいただきました。地元西原の復興を祈念しています。最後に、凡人のOBを代表して母校「天津高校」の飛躍を祈っています。

メーリングリストへの参加のお願い

パソコンの世帯保有率が73%、スマホの個人保有率が6割に近づく現状に鑑み、関東やんぼし会はネット活用により、会員間の情報共有と通信費削減を推進するとともに若手会員の増大を図ることにしました。

その第一弾としてすべくメーリングリスト kanto-yanboshi@googlegroups.com を開設しました。

このメンバーに登録されますと、総会案内やサッカー・バスケの応援の案内メールを受け取れるだけでなく、自分で他メンバーに知らせたいトピックスを投稿することができます。

また随時 Cloud にアップされた情報へのリンクも案内されますので会報や総会写真などをいつでも見ることができます。

<https://drive.google.com/drive/folders/1-Wvmpv9EHIInGUPbP4DM8UT0FQYhJzzDX?usp=sharing>

つきましてはパソコン・スマホのメールアドレスをお持ちの方は是非ともご参加いただきたく、【tsukamoto4475@gmail.com】に「氏名」「卒年(回生)」をご通知くださるようお願いいたします。

天津高校 元売店主 「前田さん夫婦」退職

“青春”見守り46年 朝6時半から、午後6時頃まで皆勤、1万数千人に上る生徒の青春時代を見守った。「急に体調を崩して生徒に迷惑をかけたくない」と元気なうちにと平成30年3月退職。鷹揚同窓会より感謝状が贈られた。【ご苦労様でした】

会務・決算報告

事務局長 矢野穂 (高19)

1. 第27回総会・懇親会の概要

① 開催日時 : 平成29年10月22日(日)
12時~14時45分

② 場所 : ニューオータニイン東京

③ 出席者 : 61名(来賓3名含む)

④ 開会の辞 : 副会長 吉岡貞和(高15回)

⑤ 会長挨拶 : 副会長 西道生 (高14回)

⑥ 来賓紹介・挨拶

鷹揚同窓会 副会長 原田スエ子 (高18回)

天津高等学校 副校長 藤本浩明(高38回)

校内幹事 内田勝弘(高26回)

⑦ 議事

・会務報告

・収支決算書報告と会計監査の承認

⑧ 懇親会

・乾杯 校内幹事 内田勝弘 (高26回)

・飲食・懇談~

・「三遊亭好太郎師匠」の唄

⑨ ふるさと製品の抽選会

⑩ 閉会の辞 東哲也 (中20回)

★会場にて、名

将・平岡和徳

さんのチー

ムマネージ

メントと人

づくりに迫

る【凡事徹底】

の書籍販売

と中山節夫

映画監督が久々に

メガホンを取られ

た【野球部員、演劇

の舞台に立つ】の前

売り券の販売を行

った。

2. 役員会の概要

○第一回 平成29年12月7日

☆第27回総会・懇親会の総括

☆ふるさと製品寄贈市町村と年会費納入者への礼状・やんぼし会報送付他

○第二回 平成30年4月18日

☆関東やんぼし会報15号の編集

☆第28回総会・懇親会の日時決定

☆平成29年度決算報告・承認他

○第三回 平成30年7月27日

☆第28回総会案内状送付

☆役員改選他

○第四回 平成30年10月5日

☆第28回総会・懇親会の準備

☆関東やんぼし会報の校正他



3. 決算報告 平成 29 年度 収支決算書 単位:円

項目	収入	支出	残高
1.繰越金	279,827		
2.年会費	160,000		
3.懇親会費	467,300		
4.雑収入	30,000		
5.懇親会費		375,000	
6.景品費		95,385	
7.通信費		68,121	
8.印刷費		55,225	
9.交通費	★1	22,590	
10.雑費	★2	34,216	
合計	937,127	650,537	286,590
次期繰越			286,590

★1 交通費には関西やんぼし会総会出席時の交通費含む

★2 雑費には事務局経費 3 万円を含む

熊本県関連施設紹介

☆熊本銀座館

最寄り駅 「JR 有楽町駅」 数寄屋橋出口より徒歩 5 分

「東京メトロ銀座駅」 B9 出口より徒歩 1 分

数寄屋橋交差点より新橋方面へ

定休日 月曜日(但し祝休日は営業、翌日休館)

営業時間 11 時～20 時

人気商品(2018 年 8 月)

- ① いきなり団子、②陣太鼓、③デコポンストレート、④南関あげ、⑤からしれんこん、⑥御飯の友、⑦ちりめん 等

☆永青文庫

住所 〒112-0015 文京区目白台 1-1-1

TEL 03-3941-0850

開館時間 10 時～16 時、

休館日 月曜(但し祝休日は開館、翌日休館)

入館料 一般 800 円、70 才以上 600 円

細川家と永青文庫

現在の細川家は藤孝(幽斎)を初代、この家に伝来する歴史資料や美術品等の文化財を管理保存・研究し、一般に公開、昭和 25 年侯爵 16 代護立公により財団法人として設立、藤孝の養家の始祖の菩提寺である京都建仁寺塔頭永源庵の【永】と藤孝の居城青龍寺城の【青】の二字をとって名付けた。

☆肥後細川庭園(旧新江戸川庭園)

住所 〒112-0015 文京区目白台 1-1

利用時間 午前 9 時～午後 5 時(2 月～10 月)

午前 9 時～午後 4 時半(11 月～1 月)

概要 細川家下屋敷の庭園跡地をそのまま公園にした池泉回遊式庭園です。入口の建物は松馨閣でもと細川家の学問所で大正時代の建造物です。隣に永青文庫があります。

伝言板 総会予定 ○:出席 △:欠席 (返信ハガキの近況欄より抜粋・一部割愛)

△中 16 回 成田 整一

歩行困難

△中 17 回 中山 惟良

歳相応に脚力が衰えました。出来るだけ毎日歩くように心がけていますが、歩きながら自分を重く感じます。仕事は殆どなくなりました。何をして生きていくか考えながら日々を送っています。他人の役に立ちたいと思いますが、これも独りよがりかも。

△中 18 回 三浦 安信(娘様より)

今年(平成 30 年)2 月 16 日亡くなりました。

いままでお世話になりました。

△中 20 回 眞弓 矢

また、暑い日が続くようになりました。役員の皆様には、酷暑の中お元気に同窓会の為にお働き下さっておられますことに深くお礼申し上げます。

私こと、今年 88 才を過ぎようとしておりますが、一応普通の老人として元気に過ごしております。8 月には一人で熊本(菊陽町)に帰りますので学校の様子も見てきたいと思っております。

△中 20 回 松岡 尚一

当方馬齢を重ね八十九才となりました。

△高 2 回 荒木 昭巳

歩行困難につき欠席致します。

○高 3 回 井 洋士

平常の生活に事欠くことはないものの、一人での外出には制約もある年齢となり、今年のやんぼし会出席で幕とします。

○高 3 回 阪本 義信

86 才、まだまだ元気です。

△高 4 回 武田英治(雅子様より)

暑い日が続いております。事務局の皆様ご健勝の事と存じます。本年 1 月 23 日急に天国へ出掛けました。8 月に入り納骨、新盆を済ますこと出来ました。皆様のご活躍・ご健勝をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

△高 4 回 園田 縣一

お世話様です。マアマア元気です。

△高 5 回 嵯峨 夕カ子

熊谷は暑い所ですので、歳を重ねますと外出は病院行く時ぐらい。息子が休みの時は温泉へ連れて行ってもらったり、「サクランボ狩り」や「リンゴ狩り」に行くのが毎年の楽しみです。大津高校のサッカーが熊本代表になって上京してくるのを楽しんでいます。

△高 7 回 二子石 章

私自身は丈夫ですが、妻がディケアセンター通いで時間がとれません。後輩の皆様の働きに感謝しています。

△高 7 回 松岡 宏子(娘様より)

ご案内ありがとうございます。母は目も見えなくして、足も車椅子で歩行困難です。

- 高 7回 **東 登代子**
皆様にお会いできるのを楽しんでいます。
- 高 7回 **秋吉 光雄**
豊川雄太君 1月ベルギー1部オイペンに移籍、リーグ最終戦ハットトリック!!1部残留を導く。豊川君とは電話で連絡して励ましたりしています。植田直通君もベルギー1部セルクル・ブルージュへ移籍、対戦するのが楽しみです。谷口、車屋、植田、豊川選手には日本代表を期待します。先日関東大学サッカーリーグ観戦に、後輩達が活躍していました。最近関東大学進学が少なくなっているようです。元気でスポーツ観戦で頑張ります。
- △高 8回 **池辺 陽子**
老いを感じ乍らも日々元気に過ごしております。関東やんぼし会が若い方々に引き継がれ発展することを祈ります。
- △高 8回 **本田 秀弼**
都合により退会させていただきます。長い間ありがとうございました。
- 高 8回 **室 守和**
大親友の遺産の囲碁資料を紐解きつつ、片や地域サッカーチームのサポートメンバーに入り勝手に熱中しています。(なでしこリーグの三部に相当)。年に数回三遊亭好太郎師匠の落語も楽しみです。
- △高 8回 **高野 剛一**
体調を壊し酒類厳禁となっており、欠席で申し訳ありませんが、次回を期したいと思っています。
- △高 9回 **大塚 至誠(ご家族)**
今日までお世話になりましたが8月2日に病死致しました。ありがとうございました。
- △高 9回 **加来 紘一郎**
熊本帰省のため欠席します。
- △高 9回 **中川 欽也**
体調が今いちパットしませんので欠席します。
- 高 9回 **村上 征記**
何時もご苦労様です。宜しく願います。
- △高 10回 **宮本 又男**
妻が病み一緒にいなければなりません。二年程出席していませんので大変申し訳ありません。
- 高 11回 **幸 曙光**
ここ数年来、腰部脊髄官狭窄症による両下肢機能障害を始め体調が芳しくなく久しく欠席を続けておりますが、今年は日頃の集中的な治療・リハビリの成果がようやく少し出てきつつ感じられます。よもや直前になってドタキャンに止むえなく至る事のない様に体調管理には十二分の注意を払って参る所存です。
- △高 11回 **渡辺 清人**
体調不良につき残念ながら遠出出来ません。
- △高 11回 **野口 澄枝**
お世話様です。
- △高 12回 **右田 弘**
茶会の予定があり、残念乍ら当日は欠席です。
- △高 12回 **戸袋 洋司**
法事で田舎の方に行きますので出席出来ません。
- △高 12回 **米原 文子**
10月21日熊本での用事があり参加出来ません。お陰様で元気に過ごしていますが、自分の身体を過信しないように気を付けています。
- △高 13回 **松井 清徳**
体調不良で遠出控えています。
- 高 13回 **小鷹 スミ子**
出席するのは久しぶりですが友人に会うのが楽しみです。阿蘇出身の主人も同伴させて下さい。
- 高 13回 **久保田 恭子**
今年も皆様にお会いすることを楽しみに!!
- 高 13回 **山下 博義**
暑い中幹事の皆様の尽力には感謝致します。
- △高 14回 **合志 玲子**
元気にしておりますが、遠出はおっくうになりました。
- △高 14回 **鍋島 務**
今回も都合により参加出来ません。
- △高 14回 **和島 美和子**
朝霞市の文化祭への参加で教室を離れ成れないため欠席します。
- △高 14回 **熊谷 長代**
盛会でありますようにお祈り申し上げます。
- 高 14回 **西 道生**
晴天・盛会を願っています。
- 高 14回 **坂本 剛毅**
後期高齢者到達月で退職希望していましたが、一年延びてしまいもう少し頑張ります。
- 高 14回 **竹中 幹郎**
今年も都市対抗野球・大津町ホンダ熊本の応援に行きました。負けて残念でした。
- 高 14回 **伊豆原 俊**
元気に仕事に励んでいます。逢えるのを楽しみに・・・!!
- 高 14回 **阪本 富士夫**
昨年は皆様にご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。現在は元気に過ごしております。出来るだけ皆様と共に関東やんぼし会の発展に頑張りたいと思っています。皆様のご協力をお願いします。
- △高 14回 **林 紘子**
今回は甥の結婚式と重なったため出席できなくなり、残念です。
- △高 15回 **藤本 廣信**
妻の看護等で日々を過ごしており、家を空けることが難しく欠席させていただきます。
- 高 15回 **吉岡 貞和**
今年も元気で本会を迎えることが出来ました。
- 高 16回 **古屋 美智子**
ふるさとの話で東の間のひと時をタイムスリップして、諸先輩の方々や懐かしい顔触れで元気パワーを頂く唯一楽しみの“やんぼし会”、顔が見えない方がいらっしやると淋しく心配になります。一人でも多くの方々が出席されるのを願っています。

△高16回 清水 常治

先月高齢者運転講習修了証明の受講に教習所に
出向きました。早いもので16回生卒も73才にな
ったんですネ!!。とにかく今年の夏は暑くて「バテ」
しました。ここで一句【点滴のように酌する 古女
房】、【健康長寿 日本よいとこ酒がある】
次回免許更新時は認知検査機能を受け合格したら、
湘南ドライバーとして自由に運転出来ます。体調
不良に付き欠席させて下さい。

○高16回 栗城 文香

毎年開催される“関東やんぼし会”が唯一の楽し
みになり、このお便りが届く度に連絡頂く“友”がい
ます。彼女にそして皆様にお会いする楽しみで酷暑
の夏を乗り切っています。28回そして私の店も
28年何かのご縁と30年を目指して頑張っていま
す。この4月姪が後輩として菊陽から通っていま
す。“女子サッカー部”の一員として・・・又楽し
みが増えて益々頑張らねばと思う今日この頃です。
お会い出来るのを楽しみに!!

○高16回 今村 飛夫

古稀過ぎれば、痛風・癌・神経痛等勢ぞろいで医
者通い、高齢者の仲間入り。

△高16回 酒井 友幸

ご苦労様です。

○高16回 杉本 十五子

残暑お見舞い申し上げます。宜しくお願い致し
ます。

△高16回 橋本 瑞穂

元気に過ごしています。10月は地震で倒れた両
親の墓の修復のため帰熊の予定です。

△高17回 藤本 輝信

今年からカントリーダンスを習っています。毎
年南阿蘇で開かれる【カントリーゴールド】で踊ら
れています。

○高18回 本田 義満

70才を過ぎたら体調にいろいろと変調が出てき
て、今までに掛ったことが無い病院の科に診ても
らう事が多くなりました。

△高18回 齊藤 小夜子

残念ですが、今回は都合が付きませんでした。元
気にしております。

△高18回 山隈 至誠

用事があり出席できません。

○高18回 中村 田加子

どうぞ宜しくお願い致します。

△高19回 杉本 徳治

事務局お疲れ様です。

○高19回 林田 和実

今年も皆様の元気な姿に会えるのを楽しみにし
ております。元気で12月に70才を迎える事が出
来そうです。

△高19回 高宮 公明

仕事の都合で行けません。

○高19回 矢野 穂

妻が15年近く続けていた家庭菜園を退職後引
き継いで10年経過した。当初二十坪程度だった菜
園も百数十坪程に広がった。買った苗から始めて
いたが、年金暮らしで収入も少なくなり種から苗
を育てている。当然乍ら育てる野菜も多くなり家
庭内では食べきれない。近隣の知人に新鮮でみず
みずしい野菜を持って行く。晴耕雨読の日々を過
ごして元気にしています。

△高20回 吉武 孝

当日都合がつかず欠席いたします。

△高20回 野口 秋男(仙台市在住)

盛会をお祈りします。

△高20回 岩水 澄人

この夏熊本に転居しました。

△高21回 池田 孝子

家族共々元気にしております。

○高21回 宮田 五男

68才になって初孫、嬉しい限りです!!

△高21回 小出 敏郎

今回は残念ですが参加出来ません。

△高23回 田口 哲朗

毎回この日は神奈川・小田原剣道連盟三段以下
の審査会で、役員をしていますので審査会への出
席となります。日程を変更して頂ければ出席でき
るのですが?

△高24回 坂本 忠總

7月7日に3年時のクラス会が熊本市内のホテ
ルで開催され、恩師の本田先生をはじめ20数名が
参加しました。40数年振りに会うクラスメイトも
おり、懐かしくとても楽しい時間を過ごすことが
出来、心の栄養を補給することが出来ました。

△高30回 水野 弘美

8月に帰省しました。阿蘇の復興も少しづつ進ん
でいるようで安心しました。実家から見える阿蘇
の風景がやっぱり一番です!!

△高33回 井芹 徳昭

2016年4月より札幌に単身赴任中、望郷の念と
共に母校・旧友への想いは年を経る毎に尽きぬも
のではありますが、実家の阿蘇へは4~5年に一回
位しか帰省出来ておりません。また関東やんぼし
会へも出席させて頂くこともなく大変申し訳なく
思う次第です。去る9/6日に北海道では大地震が
発生し、史上初のブラックアウトに陥り大混乱と
なりましたが、徐々に平成を取戻しつつあります。

△高46回 岩水 典嗣

仕事の都合により大阪に転居しました。

皆様の寄稿をお待ちしています!!

関東やんぼし会 事務局 矢野 穂 (高19回)

携帯電話 090-2313-7088

Eメール yano@at.wakwak.com

携帯メール yano-min-8131r@docomo.ne.jp